

U・Iターン就職インタビュー



マシニングセンタのトップメーカーの株式会社 松浦機械製作所にUターン就職された坂本智康さん（27歳）、坂本高行さん（27歳）にお話を伺いました。

所在地：福井市漆原町1-1

平成24年入社の坂本智康さんは、山梨県の企業で液晶セル生産技術品質保証に携わっていました。「身内に不幸があったことが、福井に帰るきっかけになりました。仕事より家族を優先し、Uターンしました。」



会社の寮にいたこともあり、就活はすべてインターネットで行いました。ネットでUターン就職支援センターを見つけて、登録しました。センターからも企業や求人の情報をいただきながら、さらに自分でも機械系の企業をネットで調べたりしました。結果として、母校の高専の紹介で松浦機械に就職しました。

同じ機械系と言っても入社間もなくゼロからのスタートです。まず会社を学び理解して社会人として成長したいですね。福井はもともとの生活基盤があり不安はないので、これからは仕事だけでなく婚活にも精を出したいです。

ご飯は美味しいし、休日外で遊ぶなら海にも山にも1時間で行けるので、最高だと思っています。ただ、生活していくには自動車運転免許証は必需品ですね。」

と、明るく話されていました。

平成20年入社の坂本高行さんは、高専卒業後、一度は県外に出てみたいと石川県の企業に就職し、配電盤などの電機設計に従事していましたが、リーマンショックを機に転職を考えました。

「インターネットでいろいろと検索しましたが、その時はUターン就職支援センターには気づきませんでした。」

独自に福井県内の企業を探すうちに、松浦機械のHPにたどり着きました。当時は中途採用の求人募集はありませんでしたが、思い切って自己アピール文を人事部に送ったら、それを見ていただいて入社することになったんです。

入社してからはマシニングセンタの配電盤の開発設計をしていますが、年々、顧客の要求も高くなっていくので大変です。でも、職場環境もよく楽しみながら仕事をしています。リーマンショックは転職のきっかけになりましたが、福井に戻ってきたのは、やっぱり福井が好きだからですね。」と、話す坂本さんは、これからは少しゆとりをもった生き方をして、いいパートナーにもめぐり合いたいと笑顔で語っていました。



●最後にUターン者に望むこととして同席いただきました総務人事ゼネラルマネージャー上村 誠氏に伺いました。

「これからの時代はモデルがない時代なので、クリエイティブな仕事を求められています。そうなるといういろんな経験や文化を持った人が集まらないとできません。他で修行された経験や知識の良いところと松浦機械の良いところを融合させて、新しいものを作ることが会社に求められています。」



Uターン就職支援センターからの紹介は優秀な人材が多いので、人材採用窓口としてはありがたいと、今後も受け入れを継続していきたいと思っています。幸福度日本一の福井県は県立図書館や音楽堂など公共施設も充実しており、優秀な人材もたくさん輩出していますが、今後は人材流出県から流入県にならなければいけません。松浦機械ではUターン者に加えて、Iターン者の採用にも力を入れています。」と結びました。

松浦機械の皆さん、ご多忙の中ありがとうございました。